

「出雲市環境レポート（令和 6 年度 (2024) のまとめ）」について

1 出雲市環境レポートについて

本市では、総合的な環境政策、ゼロカーボンシティ推進の方向性を示した「出雲市環境総合計画（R5～R12）」及び、市が行う事務事業における環境負荷の削減を目指すための実行計画である「いずもエコオフィス・アクションプログラムⅣ（R5～R12）」に基づき、環境に関する様々な取組を行っています。

出雲市環境レポートは、これらの計画に掲げた目標の達成状況や施策の進捗状況を点検・評価し、その情報の共有を図ることで、市民の環境への関心を高めることを目的として毎年作成しているものです。

2 「出雲市環境総合計画」に掲げる目標の達成状況

評価・区分	令和5年度	令和6年度
目標値に達した(◎)	5 項目 (14%)	7 項目 (20%)
目標値に達していないが、基準年度値より改善した(○)	11 項目 (32%)	10 項目 (29%)
基準年度値より良いが、前年度値を下回った または基準年度値と変わらなかった(△)	4 項目 (11%)	1 項目 (3%)
基準年度値より下回った(×)	12 項目 (34%)	13 項目 (37%)
評価対象外(—)	3 項目 (9%)	4 項目 (11%)
合 計	35 項目 (100%)	35 項目 (100%)

※評価対象外（—）としているものは、令和 8 年度に実施予定の環境総合計画の中間見直しにおいて、アンケートにより把握することとしている項目のほか、測定方法が大きく変わり目標値との比較が困難になった項目です。

<項目別達成状況及び評価>

表中のうち、「↑」は数値の増加を目指すもの、「↓」は数値の削減を目指すものです。

【1】脱炭素社会構築に関する分野

施策の柱：【1－1】地球温暖化対策

No.	施策の柱	目標設定項目	現状値 (基準年度)	実績値		短期目標値 (R12年度)	評価	
				R5年度	R6年度		R5年度	R6年度
1	1-1 温暖化	省エネ機器導入などの対策を実施している事業者の割合	17% (R4年度)	—	—	↑	40%	—
2		新築・改築時におけるZEBの導入割合	0.42% (R2年度)	0.7% (R4年度)	1.3% (R5年度)	↑	15%	○
3		新築・改築時におけるZEHの導入割合	16% (R2年度)	17.4% (R4年度)	22.6% (R5年度)	↑	31%	○
4		デコ活 (COOL CHOICE) の実施割合 (家庭)	66.3% (R4年度)	—	—	↑	80%	—
5		デコ活 (COOL CHOICE) の実施割合 (事業者)	51.0% (R4年度)	—	—	↑	70%	—
6		いずも縁結び電力(株)エネルギーの地産地消率	60% (R3年7月) ※設立時目標	72%	73%	↑	73%	△
7		いずも縁結び電力(株)排出係数	0.281 kg-CO ₂ /kwh (R3年度)	0.286 kg-CO ₂ /kwh (R4年度)	0.102 kg-CO ₂ /kwh (R5年度)	↓	0.095 kg-CO ₂ /kwh	×

No.	施策の柱	目標設定項目	現状値 (基準年度)	実績値		短期目標値 (R12年度)	評価	
				R5年度	R6年度		R5年度	R6年度
8	1-1 温暖化	新車販売台数における次世代自動車の販売台数の割合	39.2% (R元年度)	49.0% (R4年度)	54.0% (R5年度)	↑ 70%	○	○
9		CO ₂ 吸収量(森林吸収量)	156 千t-CO ₂ (R3年度)	152.9 千t-CO ₂	155.1 千t-CO ₂	↑ 156 千t-CO ₂	×	×
10		森林整備面積	149ha (R3年度)	66.1ha	48.1ha	↑ 200ha	×	×
11		間伐等実施面積	116ha (R3年度)	45.5ha	25.5ha	↑ 160ha	×	×
12		市産材取扱量	12,729m ³ (R3年度)	14,279m ³	10,907m³	↑ 15,500m ³	○	×
13		新規林業就業者数(累計)	2人 (R3年度)	7人	17人	↑ 29人	○	○

【評価】

◎ (No.6) 「いずも縁結び電力(株)エネルギーの地産地消率」については、出雲 SORARiE 大社太陽光発電所からの再生可能エネルギーの調達量が増加し、目標値を達成しました。

× (No.9) 「森林の CO₂吸収量」については、基準年度値を下回りました。要因としては森林の高齢化などが考えられます。

× (No.10、11、12) 「森林整備面積」(No.10)、「間伐等実施面積」(No.11)、「市産材取扱量」(No.12)については、基準年度値を下回りました。要因としては、民間の主伐・間伐が進まなかったためです。今後民有林については、森林環境譲与税を活用し林業事業体へ積極的に支援を行うとともに、市公有林については、令和7年3月に策定した「いずもの森ブルースカイ・グリーン計画」に基づき主伐・間伐を推進していきます。

【2】循環型社会構築に関する分野

施策の柱：【2-1】3Rの推進

No.	施策の柱	目標設定項目	基準年度値 (R3年度)	実績値		中間目標値 (R8年度)	評価	
				R5年度	R6年度		R5年度	R6年度
14	2-1 3R	ごみ排出量 (一人一日当たりごみ排出量)	58,209t (915g/人・日)	57,351t (909g/人・日)	57,086t (907g/人・日) ※暫定値	↓ 56,751t (901g/人・日)	○	○
15		ごみ最終処分量 (最終処分量)	9,243t (15.9%)	8,817t (15.4%)	9,218t (16.1%) ※暫定値	↓ 8,942t (15.8%)	◎	△

【評価】

△ (No.15) ごみ排出量は減少傾向にありますが、「ごみ最終処分量」については火災ごみが多かったため前年度値を上回りました。

【3】自然環境に関する分野

施策の柱：【3－1】森・里・川・海の保全と活用

【3－2】生物多様性の保全

No.	施策の柱	目標設定項目	基準年度値 (R3年度)	実績値		中間目標値 (R8年度)	評価		
				R5年度	R6年度		R5年度	R6年度	
16	3-1 森里 川海	里山林・森林保全活動団体数	8団体	11団体	10団体	↑	10団体	◎	◎
17		有害鳥獣の農林産物に係る被害額	4,500千円	3,700千円	1,691千円	↓	3,100千円	△	◎
18		環境保全型農業直接支払交付金取組面積	250ha	276ha	311ha	↑	300ha	△	◎
19		学校給食における地元産食材の使用割合(金額ベース)	72.7%	69.2%	72.5%	↑	77%	×	×
20		市内河川水質の環境基準等達成率(BOD)	100%	97%	97.0%	↑	100%	×	×
21		宍道湖のCOD75%値(環境基準3.0mg/ℓ)	5.5mg/ℓ	5.7mg/ℓ	5.6mg/ℓ	↓	4.6mg/ℓ	×	×
22		神西湖のCOD75%値(環境基準5.0mg/ℓ)	6.0mg/ℓ	7.3mg/ℓ	6.8mg/ℓ	↓	5.6mg/ℓ	×	×
23		汚水処理人口普及率	89.5%	90.2%	90.7%	↑	93.3%	○	○
24		水洗化率(接続率)	91.5%	91.9%	92.2%	↑	92.5%	○	○
25		海岸等一斉清掃参加者数	9,204人	9,821人	8,120人	↑	12,000人	○	×
26	3-2 生物多 様性	ホテルの生息が確認された地区の割合(生息地区数)	70% (30地区)	65% (28地区)	77% (33地区)	↑	80% (35地区)	×	○
27		市主催の自然体験事業の参加者数	6,661人	10,627人	11,557人	↑	14,000人	○	○
28		グリーンツーリズムの受入団体数	6団体	6団体	4団体	↑	8団体	△	×

【評価】

- ◎ (No.16)「里山林・森林保全活動団体数」については、前年度より1団体減少しましたが引き続き目標達成しています。
- ◎ (No.17)「有害鳥獣の農林産物に係る被害額」については前年度値を下回り目標達成しました。
- ◎ (No.18)「環境保全型農業直接支払交付金取組面積」については、既存取組団体の取組面積の増加、新規取組団体の参加により取組面積が拡大し、目標値を達成しました。
- × (No.19)「学校給食における地元産食材の使用割合」については、地元農産物の入荷量が不足し、一部県外産を使用したこと等により基準年度値をやや下回りました。今後もマッチング会議等により、地場産品の割合を増やせるよう努めていきます。
- × (No.20)「市内河川水質」については、概ね環境基準を達成したものの一部基準を満たさない箇所がありました。河川管理者と連携し水質改善に向け啓発等を実施していきます。
- × (No.21、22)「宍道湖の水質」(No.21)及び「神西湖の水質」(No.22)は、環境基準の達成とはなりませんでした。いずれも前年度より数値は向上しました。今後も宍道湖湖沼水質保全計画に基づいた対策、また、神西湖水環境保全指針に基づいた水環境保全の取組を進めていきます。

- × (No.25)「海岸等一斉清掃参加者数」については、6～7月に行われる大規模な海岸清掃のうち、悪天候により中止となったものがあり、基準年度値を下回りました。
- × (No.28)「グリーンツーリズムの受入団体数」については、前年度より減少し、基準年度値を下回りました。今後も県と協力して情報発信に努め、受入団体数の増を目指していきます。

【4】生活・快適環境の分野

施策の柱：【4－1】健康に暮らせる環境の保全

【4－2】快適環境の確保

No.	施策の柱	目標設定項目	基準年度値 (R3年度)	実績値		中間目標値 (R8年度)	評価	
				R5年度	R6年度		R5年度	R6年度
29	4-1 健康	大気汚染測定値(SPM) (環境基準:0.10mg/m ³ 以下)	0.012mg/m ³ (R2年度)	0.014mg/m ³ (R4年度)	0.014mg/m³ (R5年度)	↓ 0.10mg/m ³ 以下	◎	◎
30		自動車騒音の環境基準達成率	100%	100%	100%	↑ 100%	◎	◎
31	4-2 快適	市全体の市民美化活動参加者数	30,815人	29,133人	29,350人	↑ 35,000人	×	×
32		美化サポートクラブ登録団体数	39団体	38団体	38団体	↑ 50団体	×	×

【評価】

- ◎ (No.29、30) 生活に身近な「大気汚染測定値」(No.29)や「自動車騒音」(No.30)については前年度に続き環境基準を達成しました。
- × (No.31、32)「市民美化活動参加者数」(No.31)や美化サポートクラブ登録団体数(No.32)については近年数値が横ばいの状況であり、広報等による取組の強化が必要です。

【5】環境保全活動の分野

施策の柱：【5－1】環境学習・環境保全活動の推進

【5－2】環境情報の発信と共有

No.	施策の柱	目標設定項目	基準年度値 (R3年度)	実績値		中間目標値 (R8年度)	評価	
				R5年度	R6年度		R5年度	R6年度
33	5-1 学習・ 保全活 動	環境学習施設の利用者数	46,299人	57,597人	58,526人	↑ 53,000人	◎	◎
34		省エネ講師、ごみ減量化アドバイザー等の派遣回数	54回	26回	10回	↑ 70回	×	×
35	5-2 情報	環境総合ウェブサイト「出雲エコなび」の閲覧件数	152,715件	165,876件	—	↑ 200,000件	○	—

【評価】

- ◎ (No.33)「環境学習施設の利用者数」については、イベントの開催や広報の実施等により増加し、前年度に続き目標値を達成しました。
- × (No.34)「省エネ講師、ごみ減量化アドバイザー等の派遣回数」については基準年度値を下回りました。省エネ講師については、更なる周知に努め派遣回数が増となるように取り組んでいくこととし、ごみ減量化アドバイザーについては人数の減少や高齢化等の課題があるため、今後制度の見直しを行ったうえで取組を進めていきます。

3 「出雲市環境総合計画」に掲げる二酸化炭素（CO₂）排出量削減の目標と達成状況

国が公表している最新の自治体排出量カルテによると、令和4年度の本市のCO₂排出量は、1,481千t-CO₂で、出雲市環境総合計画の基準年度（平成25年度）のCO₂排出量1,607千t-CO₂と比較した場合のCO₂排出量削減率は約7.8%（126千t-CO₂）となり、令和3年度の削減率約15.6%より減少しました。

これは、家庭部門におけるコロナ禍の在宅時間増の影響などによる電力使用量の大幅増や、産業部門における電力・ガス及び石油使用量の増加が理由として推察されます。今後も脱炭素社会の実現に向け、市民や事業者への再生可能エネルギー設備導入や省エネルギー対策への支援、デコ活をはじめ、CO₂削減に向けた意識醸成と行動変容を促す普及啓発等に取り組んでいきます。

■CO₂排出量削減の目標

	年度	削減目標	
		出雲市	国
計画期間	R5～R12	—	—
基準年度	H25	—	—
短期目標	R12	46%	46%
中期目標	R22	65%	73%
長期目標	R32	カーボンニュートラル	カーボンニュートラル

(1) 目標の達成状況（令和4年度）

$$100 - \frac{\text{R4 年度排出量}}{\text{基準年度（H25 年度）排出量}} = 100 - \frac{1,481 \text{ 千 t-CO}_2}{1,607 \text{ 千 t-CO}_2} \times 100 = 7.8\% \text{削減}$$

(2) 部門別・分野別のCO₂排出量

（千 t-CO₂）

年度	H25	R3		R4		
部門	排出量	排出量	基準年度からの増減	排出量	基準年度からの増減	R3 年度からの増減
産業部門	522	496	△26	517	△5	21
製造業	466	406	△60	437	△29	31
建設業・鉱業	21	17	△4	16	△5	△1
農林水産業	35	72	37	64	29	△8
業務その他部門	398	294	△104	321	△77	27
家庭部門	308	243	△65	311	3	68
運輸部門	361	302	△59	310	△51	8
自動車	346	291	△55	299	△47	8
旅客	192	154	△38	164	△28	10
貨物	154	136	△18	135	△19	△1
鉄道	14	10	△4	10	△4	0
船舶	1	1	0	1	0	0
廃棄物分野（一般廃棄物）	19	23	4	22	3	△1
合計	1,607	1,357	△250	1,481	△126	124

※端数処理により合計等と一致しない場合があります。 出典：環境省「自治体排出量カルテ」からの推計値

4 「いずもエコオフィス・アクションプログラムⅣ」に掲げる目標の達成状況

「いずもエコオフィス・アクションプログラムⅣ（R5～R12）」では、市が行う事務事業から発生するエネルギーの消費の削減に取り組むこととしています。

(1) 市の事務及び事業から発生する二酸化炭素（CO₂）排出量の削減

CO₂の排出量は、令和3年12月に高圧受電施設の電力調達先をCO₂排出係数の低い「いずも縁結び電力㈱」に切り替えたことで、総排出量を大幅に削減することができ、前年度に引き続き目標値を達成しました。

また、エネルギー使用量では、電気については夏季の冷房使用の増加などの理由により微増となったほか、LPGや都市ガスについても使用量が増加しました。

一方、灯油やA重油等の種類においては前年度比減または同程度となりました。

その他項目では、コピー用紙の使用量はペーパーレス化の浸透もあり減少していますが、封筒使用量については、各種アンケートや手続き等の発送用封筒の購入が増えたことなどにより増加しました。また、水使用量については若干増加しましたが前年度に引き続き目標を達成しました。

ア 数値目標の達成状況 ※評価手法は『2「出雲市環境総合計画」に掲げる目標の達成状況』と同じ

	目標設定項目（単位）	基準年度値 （H25年度）	実績値 （R5年度）	実績値 （R6年度）	最終目標値 （R12年度）	R6 評価
1	CO ₂ 排出量（t-CO ₂ ）	53,824	17,694	16,620	18,838	◎
2	削減率	—	▲67%	▲69%	▲65%	

イ エネルギー使用量の内訳

（エネルギー）

※全ての市有施設を対象範囲としています。

	目標設定項目（単位）	基準年度値 （H25年度）	実績値 （R5年度）	実績値 （R6年度）	最終目標値 （R12年度）	R6 評価
1	電気（千kWh）	56,440	51,722	52,165	47,974	△
2	灯油（kℓ）	3,551	1,263	1,251	1,243	○
3	A重油（kℓ）	390	123	118	117	○
4	LPG（t）	284	244	256	227	△
5	都市ガス（千m ³ ）	100	119	133	95	×
6	ガソリン（kℓ）	269	204	206	215	◎
7	軽油（kℓ）	215	196	194	194	◎

(その他項目)

※市職員が配置されている施設及び小中学校を対象範囲としています。

	目標設定項目 (単位)		基準年度値 (R3 年度) ※水(R元年度)	実績値 (R5 年度)	実績値 (R6 年度)	最終目標値 (R12 年度)	R6 評価
1	ごみ排出量	(kg)	25,273	23,519	22,230	22,746	◎
2	コピー用紙使用量	(kg)	77,591	59,833	51,839	38,796	○
3	封筒使用量	(枚)	648,157	586,287	718,914	583,341	×
4	水使用量	(m3)	177,453	141,083	146,772	159,708	◎

(2) 市職員のエコ通勤の取組

職員の率先行動として、毎月第3水曜日を含む週を「エコ通勤ウィーク」に設定し、徒歩や自転車、公共交通機関利用等によるエコ通勤を呼び掛けています。

エコ通勤によるCO₂削減量は毎年増加してきましたが、令和6年度は前年度をやや下回る結果となりました。主な要因として、エコ通勤の延べ実施日数は前年度より増加しましたが、一方で総通勤距離が短くなったことにより、結果としてCO₂削減量は前年度より減少しました。

	目標設定項目 (単位)	基準年度値 (R3 年度)	実績値 (R5 年度)	実績値 (R6 年度)	最終目標値 (R12 年度)	R6 評価
1	CO ₂ 削減量 (kg-CO ₂)	134,600	161,270	154,244	200,000	△